

神奈川県作業療法士会平成17年度第5回理事会議事録

日 時：平成17年11月15日 18:40～22:30	場 所：神奈川県作業療法士会事務所
出席者：長谷川会長 清水 錠内 浅井 浅海 亀ヶ谷 作田 鈴木 長谷 松本 田中(節) 田中(秀)佐藤 理事外：村越 奥原 池田 沢口 岩野 山田 野本 鳥畑	
議 題	内 容
1. 会長挨拶 2. 三役会報告	地域からの派遣依頼が増加している。士会としての重要な使命と思われるが受けていけるか要検討。来年度は会員も1000名規模になり組織の大胆な整備が必要であろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">平成17年度中期・長期計画策定について(案)</div> 企画調整委員会より(別紙資料あり) 1. 中期計画(H18年4月よりH20年4月) (1) 会員への学術知識の提供 (2) 会員及び県民のニーズに沿った情報の提供と管理 (3) 法人化の実現 (4) 会費収入の効率的活用 (5) 事務局運営の充実 (6) 学術集会の内容の検討 (7) 新設委員会の検討 2. 長期計画(H18年4月よりH23年4月) 作業療法士の増加は県士会運営にも影響し、5年後には県士会組織の構成人数は1,500名程度と予想される。県士会としては会員の質の向上を図り県民への社会貢献を果たせる組織運営が重要である。 (1) 県士会活動の活性化 (2) 会員の学術的、技術的向上 (3) 地域貢献の出来る県士会 ----- <意見> 浅井：会費値上げの目的の中に、法人化に向けての準備が入っている。 清水：法人化推進委員は現在1名で活動しているが、実働要員を増やす必要はないか？ 鈴木：当面は一人で可能。業務量にあわせて検討したい。 浅井：資料作成に当たっての予算は必要か？ 鈴木：現在のところ必要なし。必要に応じて検討したい。 長谷：法人化に向けての書類作成については、費用がかかっても行政書士などの専門家に相談や委託することも必要ではないか？ 会長：事務手続きについてはそのように進めていくかについて

は、鈴木理事を中心に検討していく。
錠内：この計画については、理事会で内容の承認を受けたので
総会で提案する。

派遣依頼について

相模原市障害福祉課より：H18年4月より1/W 2から6名
13時から15時

小田原 : 1名 夜間

錠内：依頼について、県士会で受けるかの返答が必要

引き受ける。依頼は市内の各施設に案内を文書で出す。
(12月中)

川崎住環境ネット(本日案内あり)

内容：モニタリングのための自宅訪問と監修依頼予定。

県士会会費未納者(2002・2003年度分)への対応

督促状を送付する 承認

3. 各部報告
福利部(田中)

1. 報告

- ・11月から求人・求職サイトの掲載内容の変更(情報をオープンにする)11月4日に切り替え5件の追加掲載あり。
- ・新人教育プログラム終了後の懇親会について
活動計画にあったが、スケジュール調整が出来ず今年度は見送った。
- ・求人・求職サイト稼働
(2004年7月中旬から2005年11月7日現在)
求職：202件 求人施設：92件 の利用があった。

<意見>

清水：情報をオープンにすることについて、求人施設に了解をとったか？

田中：掲載する際の際の要綱に加え、了解した施設のみ掲載している。

ウェブサイト管理委員会(作田)

1. 各部・各位委員会からページの掲載終了

2. 新企画提案

オンラインアンケートの実施

基本概念：閲覧者から意見の収集を容易にする

目的：県士会サイトの管理運営について意見を求める

テーマ：1、携帯版県士会サイトの必要性について

2、意見交換などの目的とした掲示板の必要性についてなど

<意見>

奥原：重い話題にはしないほうが良い。

作田：運営上のテーマにする予定

野本：「ちょっと一言」より実施しやすいと思う。

承認

OTを知るシリーズ「在校生からのメッセージ」(担当：大澤)

基本概念：OT養成施設の在校生から作業療法士を目指そうとしている人へのメッセージ

目的：・学校生活に興味を持つことで、作業療法士を目指す意思決定の手助けをする。

- ・作業療法士を目指す人が学校生活を知ること、入学後に必要な適応力を高める。

概要：在校生が入学してからの学校生活について語る

*各養成施設の特色ではなく作業療法士を目指すことに着眼点を置く

掲載内容：顔写真+200X年県内のOT養成施設在籍

実施方法：各養成施設の教員に委員会が依頼

承認

<意見>

清水：掲載期間・順番・閲覧者からの質問等の詳細について検討が必要ではないか？

作田：掲載期間については、掲載日を明記した上で、執筆者からの削除の要請がない限り、期間を設ける必要はないと考えている。質問については受付けない予定。掲載の順番は受付順とする。

清水：期限を決めないと、学生は卒業してしまうのでは？

作田：ウェブの特性上、情報の積み重ねとして、情報はあればあるほど作業療法士を目指す人への支援ができると考えています。また養成施設の宣伝は目的にしているないのでポジティブな意見を掲載していく。

掲載期間は設けない事で承認

清水：文書内容のチェックは誰が行うか？

作田：養成施設の教員とWeb委員と考えている
メーリングリストでのチェックでも良いか？
一部修正はいるだろう。

田中：個人の投稿にしてはどうか？

チェックは少ないほうが良い。

錠内：県内の養成施設の広報であっても良いのではないかと？

作田：この企画では養成施設の宣伝にするつもりはない。
養成施設の宣伝は別の企画を考えている。
別企画で来年度くらいに検討していく。

(写真の掲載について)

浅海：学生の写真や名前は難しいが、イラストや漫画的な物は

どうか？

清水：個人を特定しないために複数の学生が写っている写真はどうか？

会長：写真は、掲載本人が了解すればよいだろう。

（依頼について 公文書にするか？）

鈴木：個人情報となるので公文書とした

錠内：委員会の活動内容は、最終的には県士会が責任を持つと。公文書ではなく簡便な形でも良いだろう。

承認事項

依頼について

Web 委員会宛てのアドレスを入れた文書を各養成施設の教官に送り、学生に案内する。投稿を希望する学生が Web 委員会に直接送る。

掲載期間について 掲載期間は設けない

掲載の学生の写真について 写真かイラスト

地域リハ推進部
(浅海)

第 13 回 神奈川県 PTOT 地域ケアネットワーク合同研究会

日時：2006 年 2 月 19 日（日）13:00～16:00

場所：横浜川比 研修専門学校

テーマ：介護予防における自立への足がかり

講師：前川有一郎氏（PT） （有）マエカワケアサービス
山田拓実氏（PT） 首都大学東京健康福祉学部

参加費 PT/OT 士会員 2000 円

その他 2500 円

学生 500 円

申し込み先は事務局で広報予定。生涯教育ポイントは 2 ポイント。同日午前中に開催の PT 士会主催の介護予防関連講習会の参加も可能。

その他

・ケアマネ連絡協議会（11 月 27 日）出席。シンポジストの依頼あり。

候補：訪問看護ステーション勤務の井上あきら氏（OT）

福祉用具検討委員会
(亀ヶ谷)

福祉用具・住宅改修にかかる PT・OT 人材養成等連絡会

平成 17 年度「PT・OT スキルアップ研修」について

対象者：県内に勤務する OT・PT。全日程参加可能な者。50 名
参加費：8000 円

会場：神奈川県社会福祉会館

日時・期間：平成 18 年 1 月 22 日（日）～ 3 月 11 日（土）
詳細別紙

広報について： 県士会ニュースに同封 Website に掲載
研修会運営への協力について： 当日の手伝い等は不要
修了証の発行について： 4 団体（県社協・県総合リハ事業団・
県 OT 士会・県 PT 士会）共催
印は県社協でよいのではないかと。

今後の連絡会の内容について
福祉用具の適合相談体制構築へ向けた環境整備について検討を
行っていく予定。
（次回連絡会 12 月 21 日（水）県民センターにて 19 時から）
連絡協議会への出席者について検討。

OT が知っておきたい住宅改修の基礎知識（12 月 11 日）

参加希望者（11 月 14 日現在）： 114 名
定員が 80 名のため講師と相談の上検討中

高齢者の車いすシーティング講習会（H18 年 1 月 14・15 日）

参加希望者（11 月 14 日現在）
基礎コースのみ： 8 名
アドバンスコース： 4 名
両コース： 43 名

他職種団体からの講師派遣依頼について

高齢者福祉施設協議会より
中高年実践就労講座 講師（1 名）
H18 年 2 月 14 日 13:00～16:00 県民センター
高齢者施設スタッフ希望者を対象

学術部

理事欠席のため書面にて報告

1. 新人教育プログラム修了報告 参加人数
2. 学術部予算の一時入金のための口座について

次回検討

生涯教育推進委
員会準備班
（奥原）

S I G 団体の生涯教育制度基礎コースポイント付与について

基準： 1. 会員数 20 名以上の専門職団体であること
（OT に限らない）
2. 会則に則って学術活動が継続的に行われていること
3. 当該団体の役員が作業療法士の場合、神奈川県士会
員であり、会費納入者であること。

県士会裁量付与ポイントについて

基本は申請制とする

その他

- ・生涯教育制度推進委員会の業務について

12月上旬にはニュースや Website に業務開始の案内をして
順次処理開始したい

<意見>

錠内：三役会の意見

- ・SIG団体としてOT協会リストに上がっている団体は認め、県士会に申請されたものに限り検討する。
- ・参加者が会費未納者（3年間）には生涯教育ポイントを与えない。

会長：協会の代行が県士会

県士会としては、会費未納者（約60名）のポイント付与は認めない

鈴木：未納者を排除する理論ではなく、会費納入徹底を会員に地道の伝えてゆく努力も必要。

浅海：OT協会に認定SIG団体の矛盾を指摘していくのはどうか？

会長：矛盾はOT協会に指摘していくべき。

生涯教育ポイントの付与は、県士会員のみ。

県士会員とは県士会費を納入している者を指す。

長谷：ある病院では所属するOTが全員県士会費未納のところがある。しかし、協会員ではある。

錠内：県士会としては、SIG団体の役員に県士会費未納入者がいる場合は、認定団体として認めない。

佐藤：認定団体を県士会としても増やすことも大切。

奥原：県士会として、県内の研究会を育てていくことも大切。

推進月間報告
(村越)

作業療法体験デー（詳細前回理事会資料）

（H17年8月7日 10:00～16:00 ウィリング横浜）

スタッフ 実行委員 16名

当日委員 43名

参加者 一般 71名 学生 27名 社会人 25名

その他・不明 19名

県士会員 9名

施設見学会

まだ結果を集計できていないため報告できない。

<意見・質問>

清水：県からの助成金の報告のため12月初旬までに報告書を提出してほしい。

村越：最終のまとめと反省会は年度末を予定。

簡易なものであれば提出可能

（来年の会場について）H18年8月13日（日）

錠内：会場候補：会場費用無料； 県立大 県立看護（二俣川）

広報部対外広報
班（岩野）

村越：会場は“ウィリング横浜”でやや定着しているため
会場を変更するならば、宣伝をかなりしないと無理だろう。
県民への広報活動よりも学生がメインになっている。
今後の方向性も含め検討が必要。
福祉分野との接点があっても良いのではないか？
実行委員任せにならず理事会で内容を検討してほしい。

錠内：Web上での意見交換も活用してほしい。

浅海：予算の関係は大丈夫か

錠内：31万の予算は変更ない。

錠内：1月理事会で最終報告・検討事項をあげてほしい。

すこやかかながわ一万人健康ウォーク

日時：平成17年11月12日（土）

場所：赤レンガパーク

テーマ：「『作業療法』ってなーに？」

内容

- ・作業療法紹介パネル展示
- ・検査器具展示
- ・協会・県士会パンフレット配布 等

当日スタッフ：4名

OTブース来場者 約100名

検討事項

パンフレット配布規定について（別紙資料あり）

基本送料は自己負担。1年間試行期間を設け実施する。

次回 三役会 1月10日

H17年度活動経過・H18年度活動計画案を

1月9日までに事務局に提出。

理事会 1月17日

以上

報告者：野本義則 書記：鳥畑真理子

文責：錠内広之